

「火災に対する木造密集地域の整備現状と対策」

菅野 倫太郎

要旨

木造密集地域には既存不適格建築物が多く存在している。これは、建築当時の法令に従って合法的に建てられたが、現在の法令に不適格な部分が生じた建築物である。東京都では近い将来に高い確率で震度 6 弱以上の地震がくるとされている。木造密集地域の特性や物理的な問題、社会的な問題から、火災が同時多発的に発生した場合に延焼を抑えるためにどのような課題があるのか明らかにし、過去の災害から学ぶべきこと、そして学んだことを行動に移していかなければならない。

本研究は、火災を最小限に抑えるために、住んでいる環境の異なる 1 人 1 人の住民が自らいち早くできること、自治体が取り組むべきことは何なのかを検討し、提言するものである。